

4 研修の具体的な取り組み <朝研修での取り組み>

朝研修は、朝の打ち合わせの時間（8:15～8:35 約 20分間）を活用し、自分たちが学んだことをアウトプットする場として、また、時期ごとに必要なグループ協議の場として設けられた。水・金の週 2 回実施し、年間 60 回程度計画している。自立活動においては、実態の共有、目標設定、評価から改善のための話し合い、指導案の検討などグループワークを中心に実施した。その他、エピソード記述や学校安全教育、個別の指導計画等、幅広い内容で行った。成果として、子どもの教育活動において必要な時期に、実態の共有ができた。また、それを基に対話による授業づくりや、幅広い分野の専門性向上につながった。

4月			10月		
17日	○個別の指導計画、個別の教育支援計画概要	織田	2日	☆感覚チェックシートについて 解説	後藤
19日	○個別の指導計画 内容	織田	4日	☆感覚チェックシートについて 活用	後藤
24日	学級での活動や支援について 構造化等	山中	9日	図工・美術の指導 大切にしたい子どもの意思と筆致	上月
26日	○引き渡し訓練（目的、経緯、役割確認）	後藤	11日	ストレスマネジメント「認知行動療法」	松尾
5月			16日	○オペレッタ中間発表の狙い	学芸部
1日	合理的配慮と基礎的環境整備	山中	18日	発達の意味性をつなぐ理論講座「型はめ」	鳥海
8日	○個別の指導計画 クラス確認	織田	23日	○グループ学習 後期中間評価	研修部
10日	○窒息対応	森田	25日	○オペレッタ児童生徒 配慮事項共通理解	学芸部
22日	○エピソード記述	北村	30日	○ふれあいフェスティバル役割確認	学芸部
24日	○不審者対応訓練 事前確認 チーム会議	小西	11月		
29日	○大阪教育大学附属池田小学校不審者対応訓練視察報告	橋本	6日	○オペレッタ児童生徒 振り返り 評価	研修部
31日	○てんかんについて	藤原有	8日	☆教材相互参観 小学部紹介	研修部
6月			15日	☆教材相互参観 中学部・自立活動部紹介	研修部
5日	○エピソード記述	北村	20日	☆研究会授業グループ役割分担	研修部
7日	○エピソード記述を読んで意見交流	北村	22日	○20分間走 要支援児童生徒 実態抽出	体育部
12日	○ASUKAモデル・心肺蘇生法の手順	藤原有	27日	○20分間走 要支援児童生徒 共通理解	体育部
14日	○水泳指導について 留意点 配慮事項確認	染原	29日	○エピソード記述について（理論）	北村
19日	○不審者対応訓練 ビデオ検証	安全委	12月		
21日	○児童生徒搜索訓練 役割確認	藤原沙	4日	☆研究会 分科会進行とポスター発表	研修部
26日	新版K式発達検査について	後藤	11日	☆研究会 分科会における協議のねらい	研修部
28日	グッドイナフ人物知能検査	山中	13日	○ヒヤリハット事例 作成	安全委
7月			18日	☆研究会 授業の振り返り	研修部
3日	○学校安全授業 指導案検討 打ち合わせ	安全委	20日	○ヒヤリハット事例 検証と活用	安全委
5日	○学校安全授業（生活安全）役割確認	安全委	1月		
10日	○学校安全チーム会議	安全委	10日	体力づくりにおける準備体操について	小西
12日	☆個別の指導計画 中間評価と今後の計画	研修部	15日	アプリ・クラスルームの活用例	藤原沙
17日	○本校の過去の事故事例から学ぶ	喜多山	17日	親子防災学習・役割確認	後藤
8月			22日	給食指導での取り組みについて	染野
30日	○夏季親子職場実習報告会①	研修部	24日	神戸市立青陽須磨特別支援学校について	田畑
9月			29日	肢体不自由児の身体弛めについて	藤本
4日	○夏季親子職場実習報告会②	研修部	31日	小学部グループ学習の取り組みについて	門田
6日	○エピソード記述を読む	北村	2月		
11日	○グループ学習 前期評価から後期計画へ	研修部	5日	一日入学 児童生徒情報共通理解 役割確認	山中
13日	○小学部 オペレッタ個々のねらい	小学部	7日	学校安全(電気器具取扱と火災について)	井澤
18日	○夏季親子職場実習報告会③	研修部	12日	作業学習について	三村
20日	○夏季親子職場実習報告会④	研修部	14日	職員合唱「旅立ちの日に」	垣内
25日	○夏季親子職場実習報告会⑤	研修部	19日	○エピソード記述を読む	北村
27日	○大阪教育大学附属池田小学校視察報告	藤井康	21日	居住地校交流の様子	藤枝
○…小野特別支援学校の特色ある研修 (ONOTOKUスタンダード)			26日	訪問学級	中井
			28日	○卒業生を送る会 個々のねらい・役割確認	学芸部
			3月		
			5日	ケガの予防	藤井敬
無印…特別支援教育に関する研修			7日	健康について	丸田
			12日	1年間の取り組みについて	永井
☆…自立活動に関する研修			14日	指導要録の共通理解	研修部
			19日	先進校視察報告(学校安全)・東京	藤原沙
			21日	先進校視察報告(学校安全)・大阪	山中

<校内研修等での取り組み>

今年度の校内研修は、研究授業の事後研修会に力を入れ、学部ごとにビデオを見ながら、授業者が解説をして振り返りを行った。なぜこの場面でこのような指導・支援をしたのか共有した上でグループ協議ができ、授業の成果と今後の改善案についてより深めることができた。

また、新たに新着任者研修を取り入れ、教育活動の事前に必要な研修を行うことができた。講師招聘の研修では、研究テーマに沿った内容に絞り、理解を深めることができた。

日時		研修内容
4月	5日	○新着任者研修「小野特の1年、小野特の1日の流れ。わかって動ける授業づくり。チームティーチングについて」(山中)
	22日	○新着任者研修「自閉症の特性と対応について。原則と配慮の違いについて。運動会、参観日で心がけること」(山中)
	24日	☆「今年度の研究テーマと研究の方向性について」(後藤)
5月	1日	○「個別の指導計画の記入について」(織田)
	8日	○「個別の指導計画の交換チェックと学習会」(織田)
	10日	○新着任者研修「インリアルアプローチについて」(後藤)
	27日	○新着任者研修「R-PDCAサイクルの自立活動について。本校の指導案の様式について」(山中)
	31日	☆「社会の一員として自立できる人間の育成を目指した自立活動の指導」講師 関西国際大学 吉田 裕彦 教授
6月	11日	☆授業研究会 授業者:後藤 指導助言 講師 関西国際大学 中尾繁樹 教授
	12日	☆事後研修会 <6月11日分> 全職員 (研修部)
	24日	○新着任者研修「特別支援学校(知的)の教育課程について 小学部・中学部」(笹倉)
	26日	新版K式発達検査について 演習 (後藤)
7月	9日	☆授業研究会 授業者:藤本・山中 指導助言 講師 関西国際大学 中尾繁樹 教授
	10日	☆事後研修会 <7月9日分> 全職員 (研修部)
	17日	○エピソード記述 検討会 (人権推進 北村)
	25日	☆センターの機能研修会「不器用な子どもたちの感覚運動指導」講師 関西国際大学 中尾 繁樹 教授
8月	20日	○学校安全推進研修会 講師 日本スポーツ振興センター 災害給付事業部 大阪支部 業務推進課 工藤 保 課長 講師 京都市立養徳小学校 林 道明 校長
	26日	○センターの機能研修会「エピソード記述検討会・講演会」 「エピソード記述検討会の充実に向けて『読者応答性』という問題の意味するもの」講師 京都大学 鯨岡 峻 名誉教授
9月	5日	☆授業研究会 授業者:豊田・上月 指導助言 講師 関西国際大学 中尾繁樹 教授
	6日	☆事後研修会 <9月5日分> 全職員 (研修部)
	25日	☆「実態把握に基づいた授業づくりと、コミュニケーションアプローチ」講師 武庫川女子大学 橋詰 和也 教授
	27日	○新着任者研修「過去のオペレッタの紹介と教育活動としてのねらいについて」(笹倉)
10月	1日	☆授業研究会 授業者:垣内・永井 指導助言 講師 関西国際大学 中尾繁樹 教授
	9日	☆事後研修会 <10月1日分> 全職員 (研修部)
	21日	○新着任者研修「自主研究発表会についての説明、体力づくり(20分間走)の指導、支援について」(後藤)
11月	21日	☆授業研究会 授業者:小西・織田 指導助言 講師 関西国際大学 中尾繁樹 教授
	22日	☆事後研修会 <11月22日分> 全職員 (研修部)
12月	17日	☆自主研究発表会「一人ひとりの実態に応じた自立活動の充実 ～ 根拠のある実態把握を通した授業づくり ～」 授業者:鳥海・藤原沙・染野・笹倉 指導助言 講師 関西国際大学 中尾繁樹 教授
1月	17日	○学校安全推進実践報告会 講師 大阪教育大学 学校安全推進センター長 藤田 大輔 教授
	22日	○エピソード記述 検討会 (人権推進 北村)
	23日	☆授業研究会 授業者:橋本・中井 指導助言 講師 関西国際大学 中尾繁樹 教授
	24日	☆事後研修会 <1月23日分> 全職員 (研修部)
	29日	○エピソード記述検討会 指導助言 講師 京都大学 鯨岡 峻 名誉教授
2月	21日	○「子どもの目には見えない心の動きを感じ、思いに寄り添う教師のまなざし」講師 鳴門教育大学 垂髪あかり 准教授
☆…自立活動に関する研修 無印…特別支援教育に関する研修 ○…小野特別支援学校の特色ある研修(ONOTOKUスタンダード)		

<特別支援教育スパイラルアップ講座>

特別支援教育のセンター校として市内の小中学校の教職員向けに、特別支援教育スパイラルアップ講座を開催した。特別支援教育の対象となる児童生徒の指導に関わる基本的な内容について学ぶことにより、アセスメント力・授業実践力を習得することや実践交流・情報交換により、課題解決に向けた指導力の向上を図ることを目的に取り組んでいる。2年前は、自立活動を中心とした講座を開催し、昨年度は、行動支援や授業づくり、進路や教材紹介、コミュニケーション支援等、幅広く内容を取り扱いながら、ミニ講座の開催と各校の実践や取組状況等の共有を行った。今年度は、市内小学校に会場を提供してもらい、実際の現場を見ながら、各校の特別支援学級・通級指導教室の様子について情報共有を行った。また、講座開催にあたり、事前に教育相談を兼ねた学校訪問を行い、学校の課題や要望に応じたテーマで講義や協議を行うことができた。現場の様子から指導や教材のヒントを得たり、スペースの活用や「○○な場面ではどうしてる?」という問いに、現場で実際にどうしているか分かりやすく説明できるなど、充実した相談や情報共有ができていたりしている。継続していくことで、市内の先生方と横のつながりを作りながら専門性向上を図ることができてきた。

回	期日		場所(予定)	内容(予定)	事前訪問日
1	6月24日	月	河合小学校	グッドイナフ人物画知能検査について	5月24日
2	7月22日	月	小野東小学校	応用行動分析(ABA)と ポジティブ行動支援(PBS)の 視点からのアプローチ	6月25日
3	9月17日	火	小野小学校	R-PDCAサイクルに基づく 自立活動の指導と実際 (教材紹介を通して)	7月26日
4	10月22日	火	来住小学校	生活単元学習について	10月17日
5	11月25日	月	大部小学校	日常生活の指導について	10月25日
6	12月10日	火	市場小学校	感覚統合について	12月2日
7	12月17日	火	小野特別支援学校	小野特別支援学校 自主研究発表会 授業公開	無
8	1月21日		中番小学校	認知能力・認知機能を育てる 発達支援について	1月16日
9	3月4日		下東条小学校	授業づくり サーキットについて	1月30日